

## 重大事故防止のための行動計画について

2009年 7月29日

日本アメリカンフットボール協会

理事長 谷口 輝雄

日本アメリカンフットボール協会では、医科学委員会からの「重大事故防止の提言」を受けて、選手の安全を確保するための方策を検討してまいりました。

アメリカンフットボールは、球技と格闘技の両方の要素をもったスポーツであり、激しいブロックとタックルは、アメリカンフットボールの醍醐味です。選手と選手が激しくぶつかり合うスポーツですから、この怪我の発生をいかに防ぐかが肝要であると従来から認識されてきたところです。すなわち、アメリカンフットボールが誕生して以来、ルールの改定、防具の開発など、怪我の発生を最小限に抑えるための数々の努力がなされてきました。怪我の予防のためのテーピング、トレーニング方法、リハビリテーションなど、医学やトレーニングの面からも数多くの研究がなされてまいりました。

選手の安全を確保するためには、選手自身の努力はもちろんのこと、選手を取り巻く、監督、コーチ、ドクター、トレーナー、審判、そして協会関係者が一致協力して、選手の安全を確保するための努力をしていかなければなりません。そこで、今年春、日本アメリカンフットボール協会の第1回アメリカンフットボールコンベンションを開催し、監督、コーチ、ドクター、トレーナー、審判、そして協会関係者が一堂に集まり、選手の安全確保をメインテーマに情報共有と意見交換をいたしました。

コンベンションにお集まりいただいた皆様方からのご意見をもとに、以下の3点を中心として、選手の安全を確保するための活動を継続的に実施することといたしました。

- (1) 選手の安全を確保するためのルールの周知・徹底
- (2) 事故の予防ならびに事故発生時の適切な処置に関する情報の周知・徹底
- (3) 選手の安全を確保するための指導方法に関する情報の周知・徹底

上記三つの活動は、それぞれ、チームや組織ごとに今までも実施されておりましたが、今後は相互の連携をより緊密にし、競技人口の拡大を視野に入れて、全国的・組織的な展開を図ることといたします。上記(1)(2)とも今後より一層活動を充実させてまいりますし、逐次本HP上でもご報告してまいります。今般、その一環として、上記(3)に関連して、「指導者育成プログラム」作りに着手いたしました。

アメリカンフットボールは戦略・戦術が試合の勝敗を大きく左右することから、チームや選手の指導内容は、情報の共有化が積極的には行われていませんでした。「指導者育成プロ

グラム」は、どのチームにも共通する「選手の安全確保」や「ファンダメンタルズ」に着目した標準指導書を作成し、全国の指導者の方々に役立てていただくことを目的に、全国各地で定期的に講習会を開催しようというものです。2010年度からのプログラム開始を目標に、「指導者育成プログラム」のための計画を進めてまいりますので、関係者の方々のご協力・ご支援をお願いする次第です。私ども日本協会のこれらの活動につき、ご理解いただければ幸いです。

以上